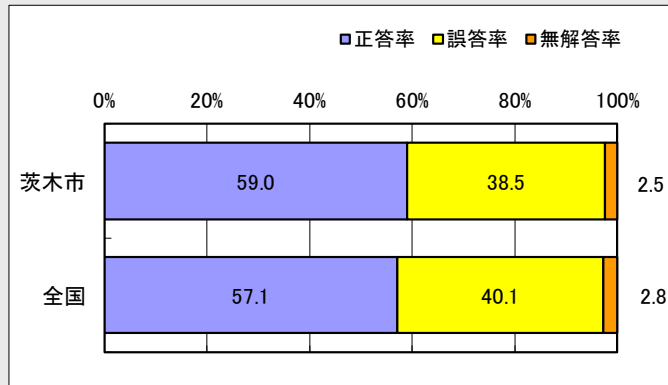


正答率比較

平均正答率は、全国を1.9ポイント上回った

令和7年度 小学校理科 正答率等比較

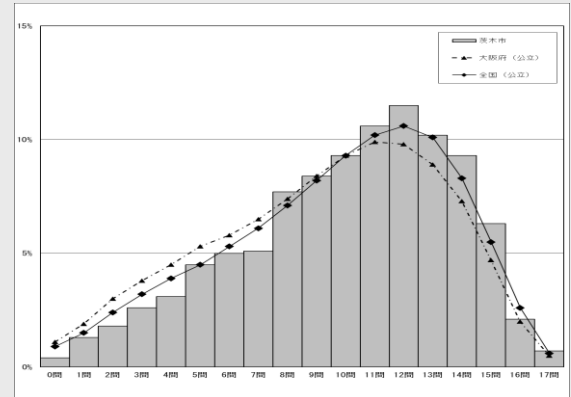


- ◆ 全国の平均正答率が 57.1%であるのに対し、茨木市では 59.0%で、全国を 1.9 ポイント上回った。
- ◆ 誤答率については、全国より 1.6 ポイント低い。
- ◆ 無解答率については、全国より 0.3 ポイント低い。

正答数分布

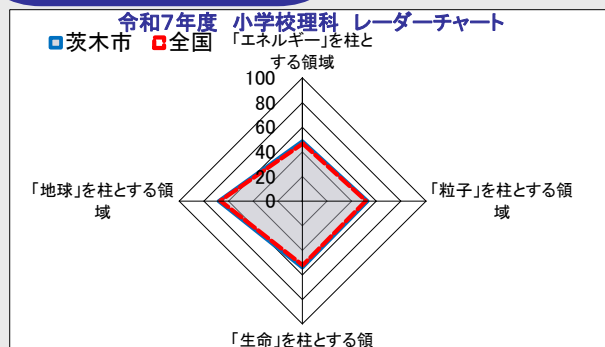
学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である

令和7年度 小学校理科 正答数分布グラフ



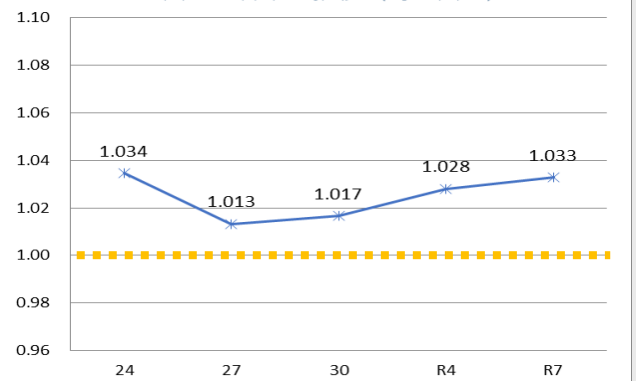
- ◆ 全国、茨木市ともに 12 問正解の児童の割合が最も多い。
- ◆ 正答率 40%以下(0～7問正解)の児童の割合は 23.8%である。(内 20%以下(0～3問正解)の児童の割合は 6.1%)
- ◆ 正答率 80%以上(14～17 問正解)の児童の割合は 18.4%である。

領域別



正答率経年比較

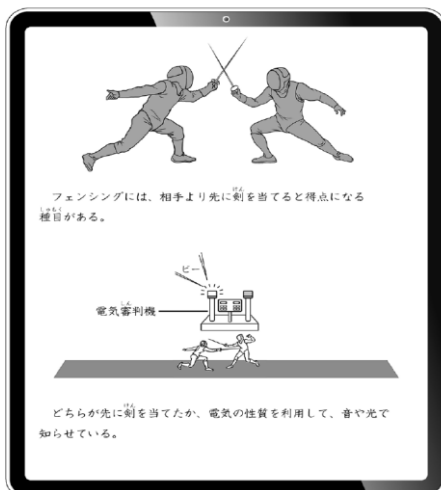
過去5回の正答率の推移 (対全国比)



課題があった設問

○身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いているかどうかをみる。

2 てつやさんといりさんは、フェンシングについて調べています。



(1) アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

- 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

【正答例】アルミニウム 2、鉄 1、銅 2 と解答しているもの

解答類型	反応率 (%)	正答
アルミニウム 1、鉄 1、銅 1 と解答しているもの	0.3	
アルミニウム 1、鉄 1、銅 2 と解答しているもの	2.0	
アルミニウム 2、鉄 1、銅 1 と解答しているもの	2.6	
アルミニウム 2、鉄 1、銅 2 と解答しているもの	11.7	◎
鉄 2 と解答しているもの	3.5	
アルミニウム、鉄、銅のいずれかに、3または4 と解答しているもの	79.2	
上記以外の解答	0.4	
無解答	0.4	

○アルミニウム、鉄、銅のいずれかは、電気を通さないと解答した児童は79.2%(全国77.9%)

電気を通す物と磁石に引き付けられる物に関する知識に課題がある

【この問題で求められている力】

身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物がわかっているか

☆学習した知識を身の回りで見られる事物・現象と関係付けたり、様々な内容で習得した知識を整理したりして、物質の性質に関する理解を深めることが大切である。

【理科についての今後の指導のポイントとして】

「磁石の性質」と「電気の通り道」では、鉄、アルミニウム、ガラス、木など、同じ対象物を用いて学習することが多い。それぞれの内容で習得した知識を物ごとに整理し、まとめるなどして、物質の性質について理解を深めるようにするとよい。

そのため、自然の事物・現象と知識を関係付けたり、知識を相互に関連付けたりして、理解を深めることの大切さについて意識して授業を改善することが大切であると考えられる。